

別紙

課題名	研究代表者	研究分担者	概要	期間
<p>地域全体の安全・安心を確保する 防災・減災および鳥獣センシングを 実現するセンサーネットワークシ ステムの研究開発</p>	<p>不破 泰(信州大学) 【電話】0263-37-2527</p>	<p>鈴木 彦文(信州大学)</p>	<p>【地域課題の解決】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土石流・洪水氾濫の自然災害から、よりの確で迅速な避難対応による被災者減少の実現。 ・野生鳥獣による「人的被害の回避」「農林業被害の軽減」「自然被害の軽減」を図ると同時に「棲み分けによる人と野生鳥獣の共存」の実現。 <p>【研究ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存のアドホックネットワークインフラに接続可能な汎用性の実現。 ・土石流・洪水氾濫の予知・検知を目的とする防災・減災システム用センサー技術の開発。 ・危険を伴う鳥獣への発信器の取り付けを前提としないセンシング手法の開発。 ・安価な端末とその長寿命の実現。 ・広範囲で多数の端末からのデータ収集能力の高いネットワークプロトコルの開発。 	<p>2年</p>
<p>住民参加型トリアージを可能とする 救命救急GIS連携技術の研究開発</p>	<p>牧野 秀夫(新潟大学) 【電話】025-262-6749</p>	<p>金子 昌彦((株)ウィビコム) 湯川 高志(長岡技術科学大 学) 井ノ口 宗成、木下 秀則 小林 恵子、高橋 昌、 西森 健太郎(新潟大学)</p>	<p>【地域課題の解決】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の災害現場では無線や電話以外にトリアージ情報を総合的に収集する手段がない。更に医師・看護師などの医療従事者数は限られる中、地域の救急医療体制の拡充のため、可能な範囲で「一般住民の協力」が必須。 <p>【研究ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民による携帯電話入力を実現する「NFC(近距離無線通信規格)用ソフトウェアを開発」し、Webで救急救命GISシステムの情報共有を実現。被災者情報を瞬時にかつ容易に伝達し、解析・共有する手段の開発。 ・基幹病院や災害対策本部などの利用者側の要求に対して、「ピンポイントの被災者情報」から「地区全体の被災状況」といった「適応型検索機能を付加」する点が独創的。 	<p>2年</p>